

# 統計から見た恵那市の現状

恵那市企画課  
(令和元年6月)

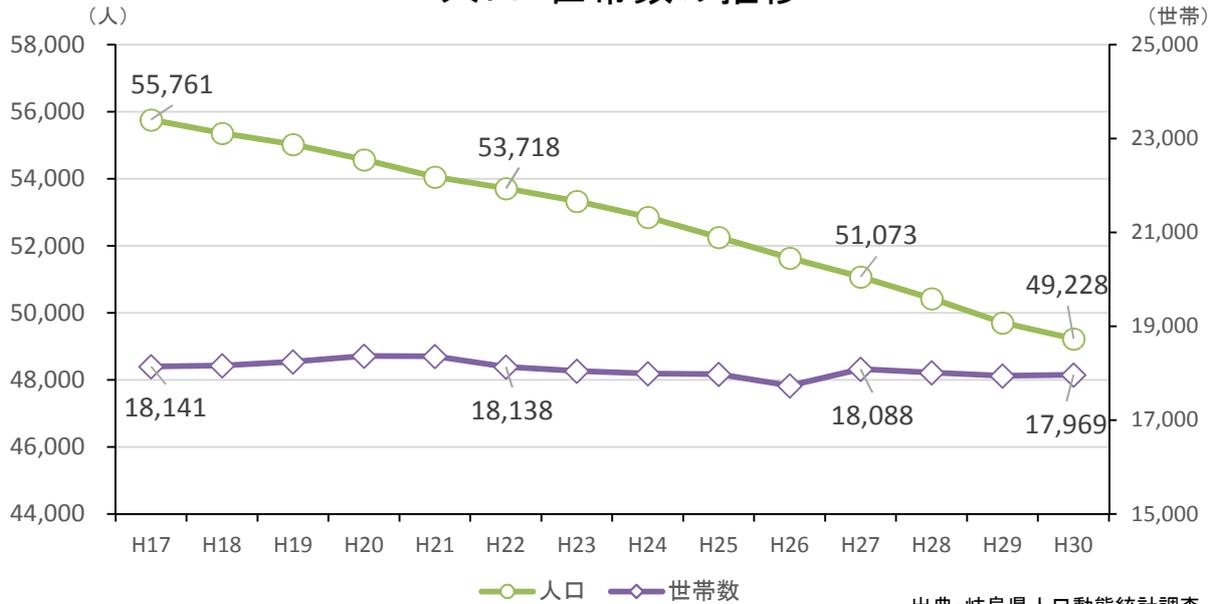
## 1. 人口

◇本市の人口は平成30年10月現在で49,228人、平成17年と比べると6,533人減少(11.72%減)しており、**年間約500人ずつ減少**している。

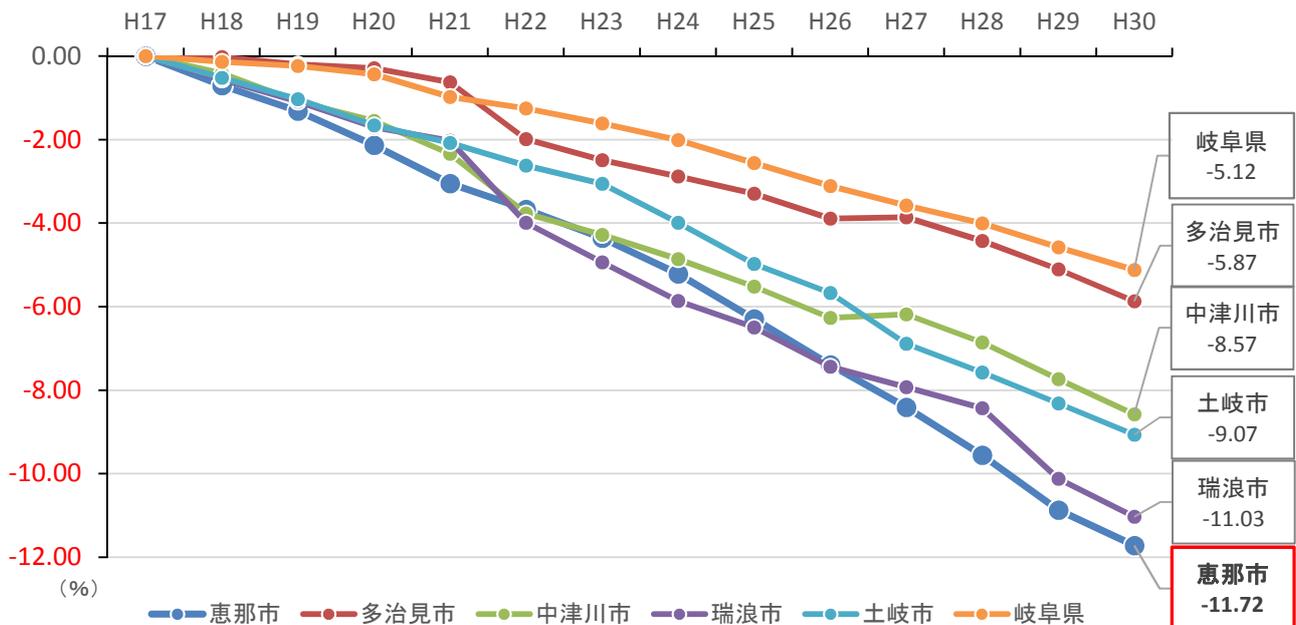
◇世帯数は横ばいの状態である。

◇岐阜県及び東濃の各市においても人口は減少しており、推移を比較すると、**恵那市の減少率が一番大きい。**

### 人口・世帯数の推移



### 平成17年を基準とした減少率の推移

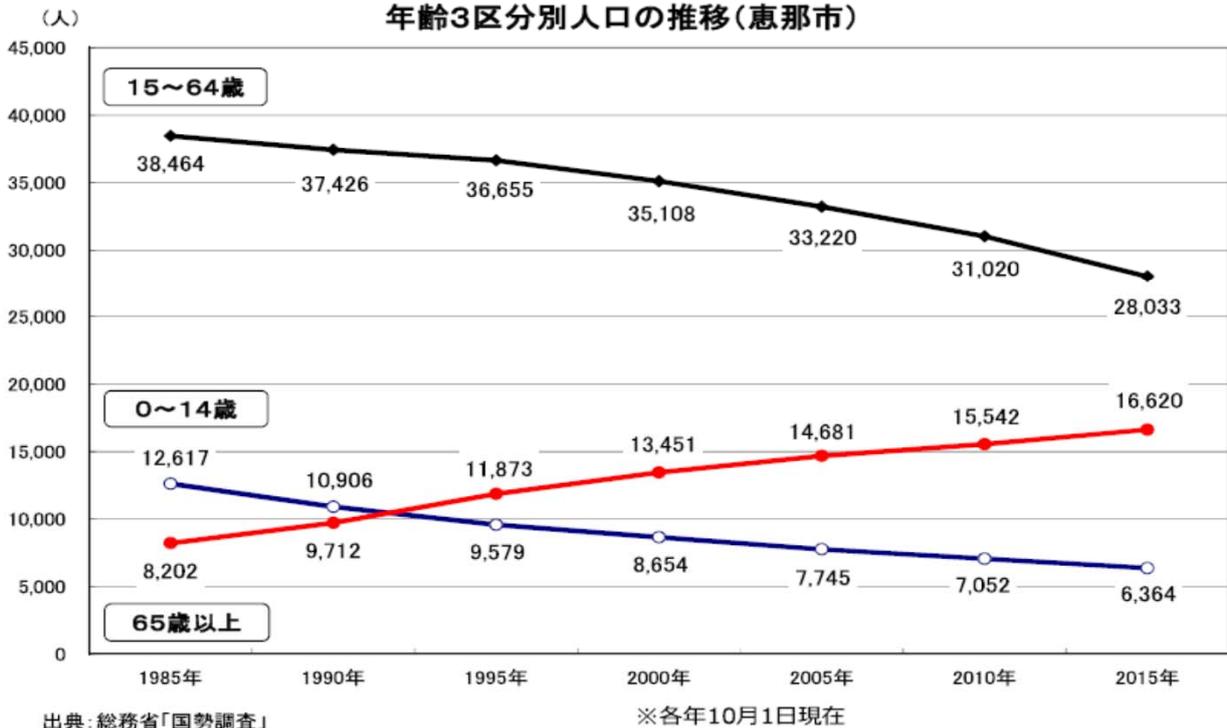


◇0～14歳(年少人口)と15～64歳(生産年齢人口)の減少が続く一方で、65歳以上(老年人口)は増加している。

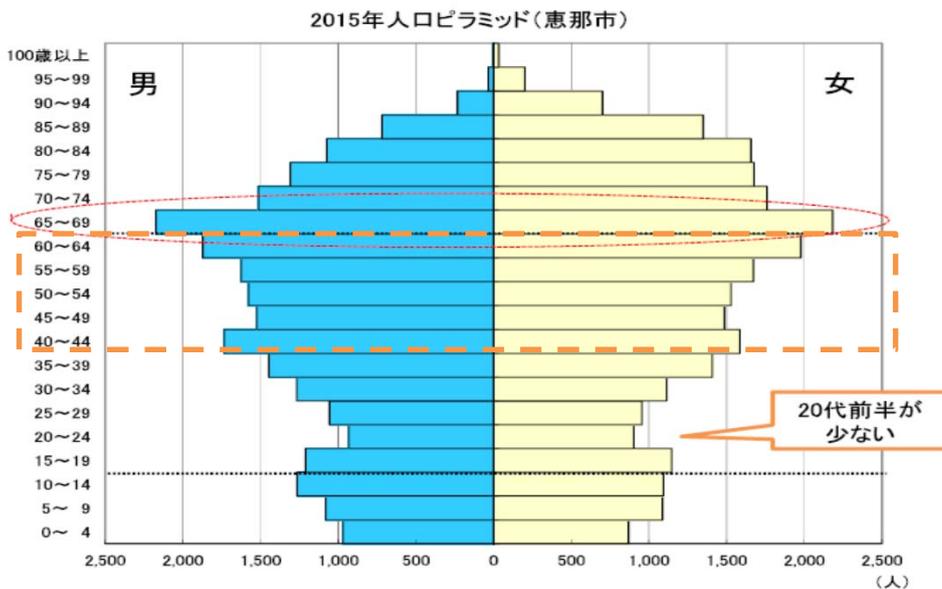
◇若い世代が少なく、中高年層(40～64歳)に厚みのある年齢構造となっており、今後、厚みのある中高年層が65歳以上となり、高齢者はさらに増加するとみられる。

人口の増減数	2005→2010	2010→2015
0～14歳	△ 693	△ 688
15～64歳	△ 2,200	△ 2,987
65歳以上	861	1,078

	年齢3区分別人口の割合 (2015年)		
	恵那市	岐阜県	県内順位
0～14歳	12.5%	13.2%	26位
15～64歳	54.9%	58.7%	32位
65歳以上	32.6%	28.1%	10位



引用: 統計からみた恵那市の現状(岐阜県)

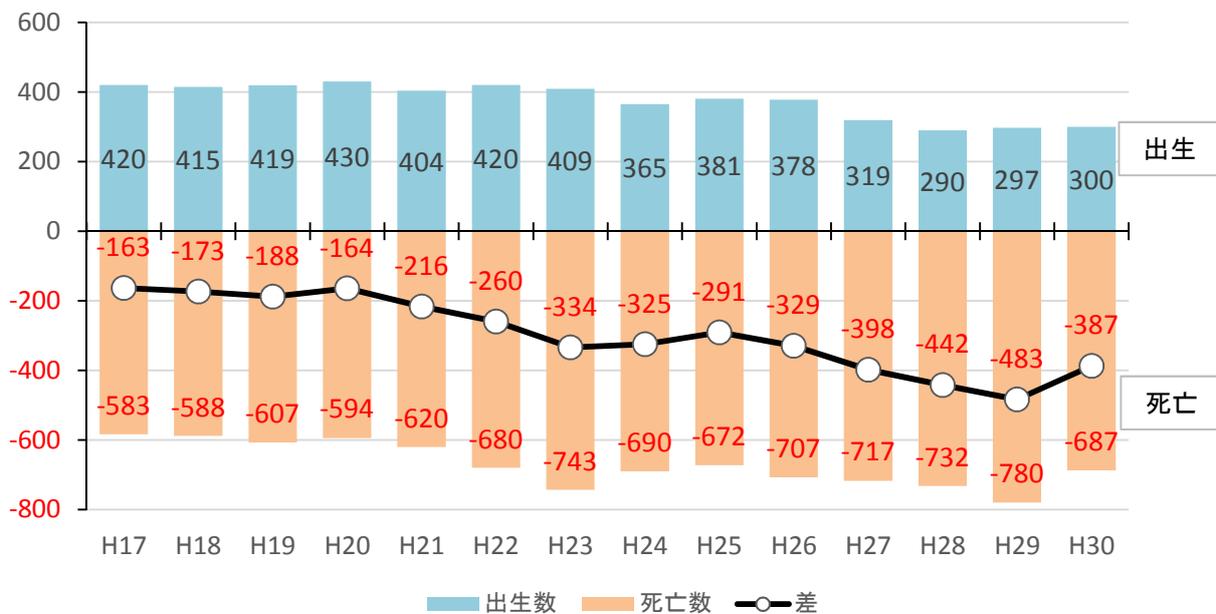


出典: 総務省「H27国勢調査」

引用: 統計からみた恵那市の現状(岐阜県)

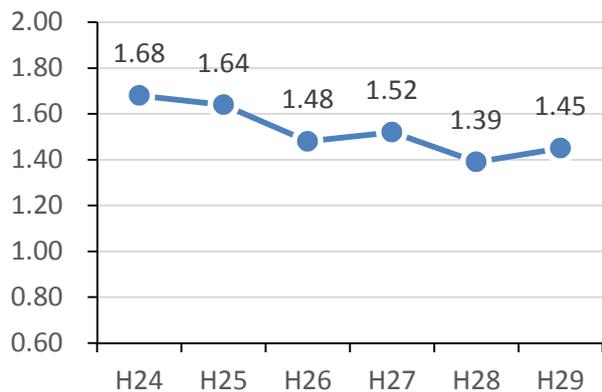
- ◇死亡数が出生数を上回る「**自然減**」が続き、減少幅も大きい。
- ◇平成29年の合計特殊出生率は1.45であり、東濃5市の比較では**2番目に高い**。

### 自然増減(出生・死亡)の推移



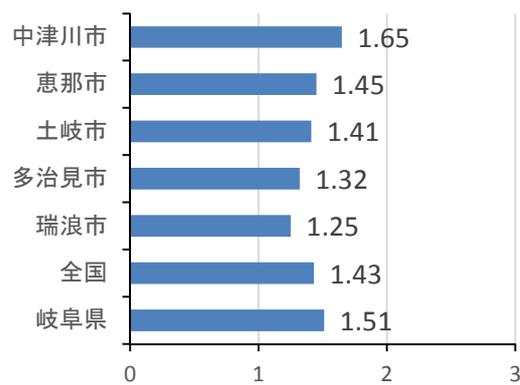
出典: 岐阜県人口動態統計調査

### 合計特殊出生率の推移



出典: 恵那の公衆衛生 (恵那保健所)

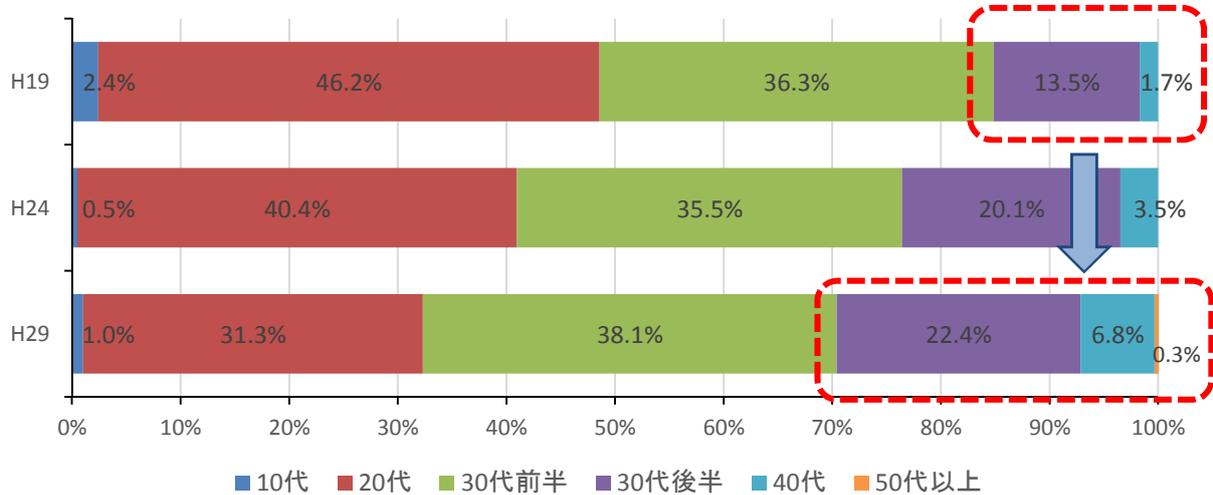
### 合計特殊出生率比較(H29)



出典: 恵那の公衆衛生 (恵那保健所)  
東濃西部の公衆衛生 (東濃保健所)

◇母親の年代別出生数の割合で30代後半以降に出産する割合は平成19年は15.2%に対し平成29年は29.5%と増加しており晩産化が進んでいる。

### 母親の年代別出生数の割合

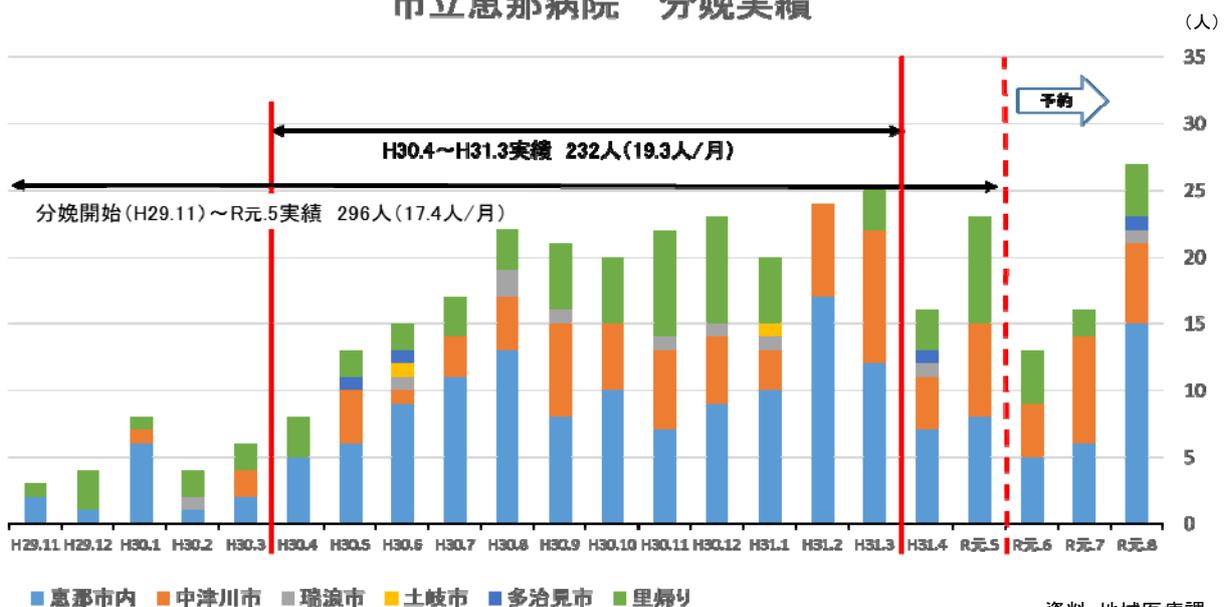


出典：恵那の公衆衛生(恵那保健所)

◇平成29年4月に市立恵那病院に産婦人科が開設され、市内で分娩できる環境が整った。

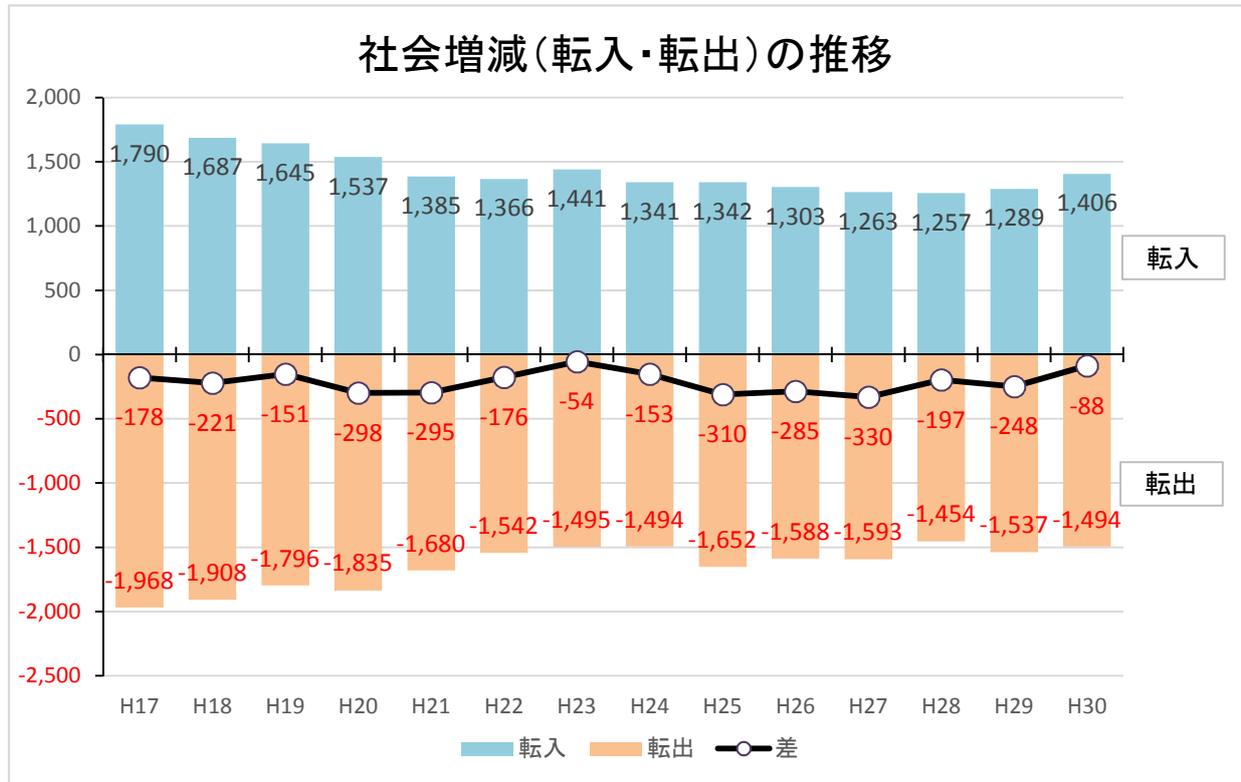
◇平成30年度の実績は232人(月平均19.3人)である。

### 市立恵那病院 分娩実績



資料：地域医療課

◇社会動態では転出者が転入者を上回る「**転出超過**」の状態が続いている。

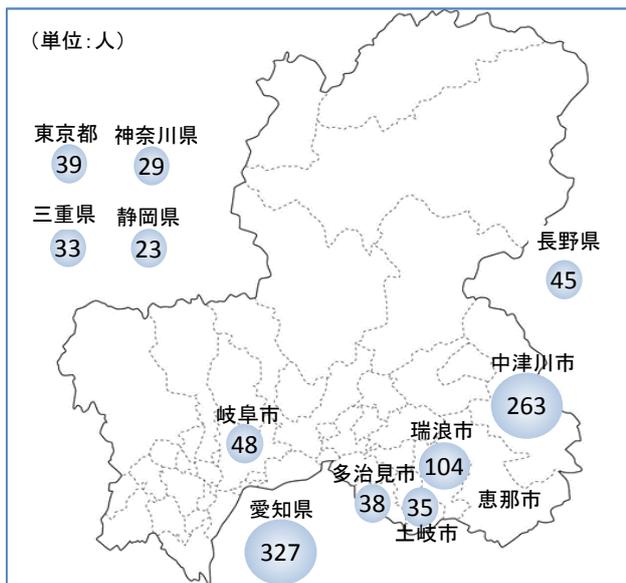


出典:岐阜県人口動態統計調査

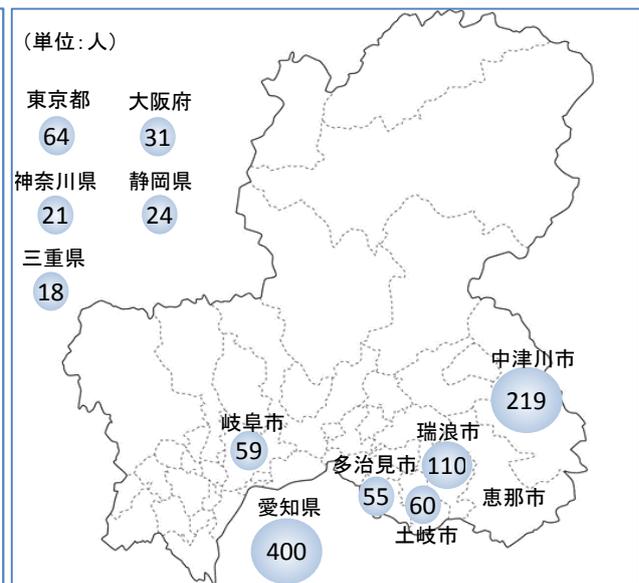
◇H30の転入・転出の内訳をみると、県内では「中津川市」「瑞浪市」など**近隣市への転入転出が多い**。

◇県外では転入転出共に全体の**約1/4が愛知県への移動**である。

【恵那市へ転入(H30)】 転入者数 1,406人



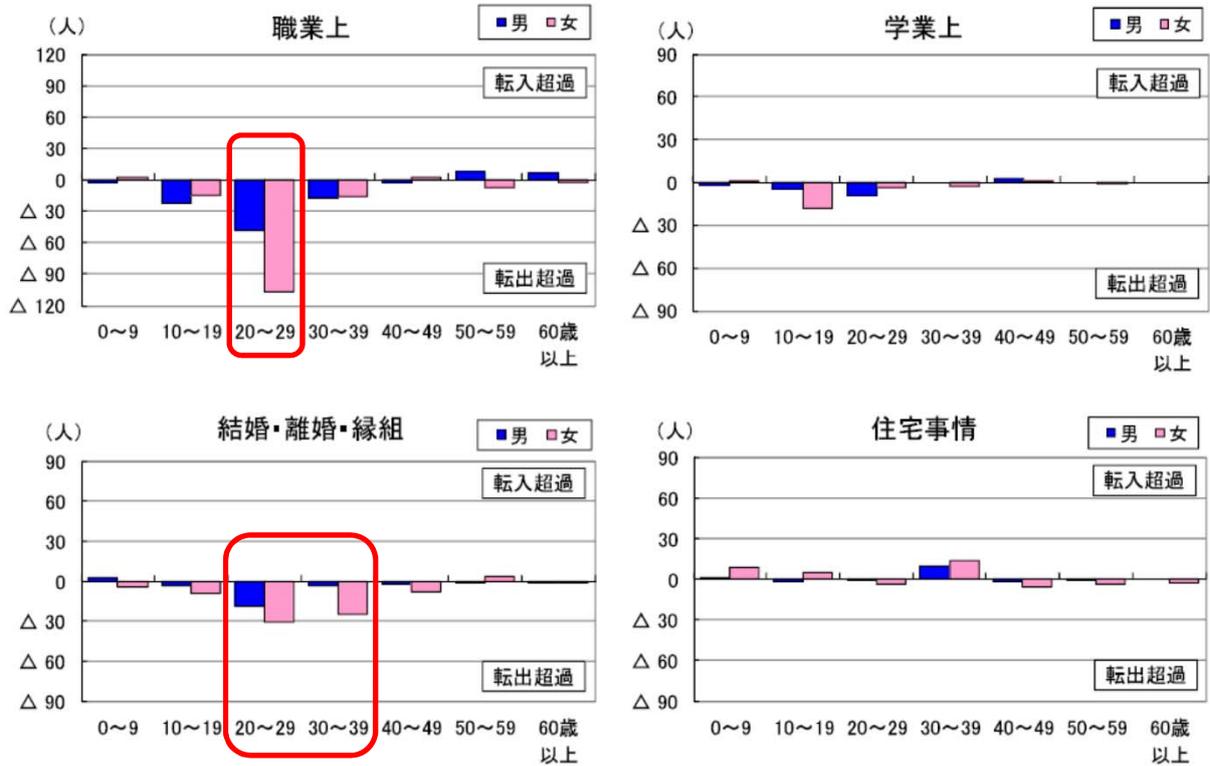
【恵那市から転出(H30)】 転出者数 1,494人



出典:岐阜県人口動態統計調査

◇年代別、移動理由別の社会動態をみると、「**職業上**」や「**結婚等**」を理由として**20～30代の女性の転出が多い**。

主な移動理由でみた世代別日本人の社会動態(恵那市 H29)

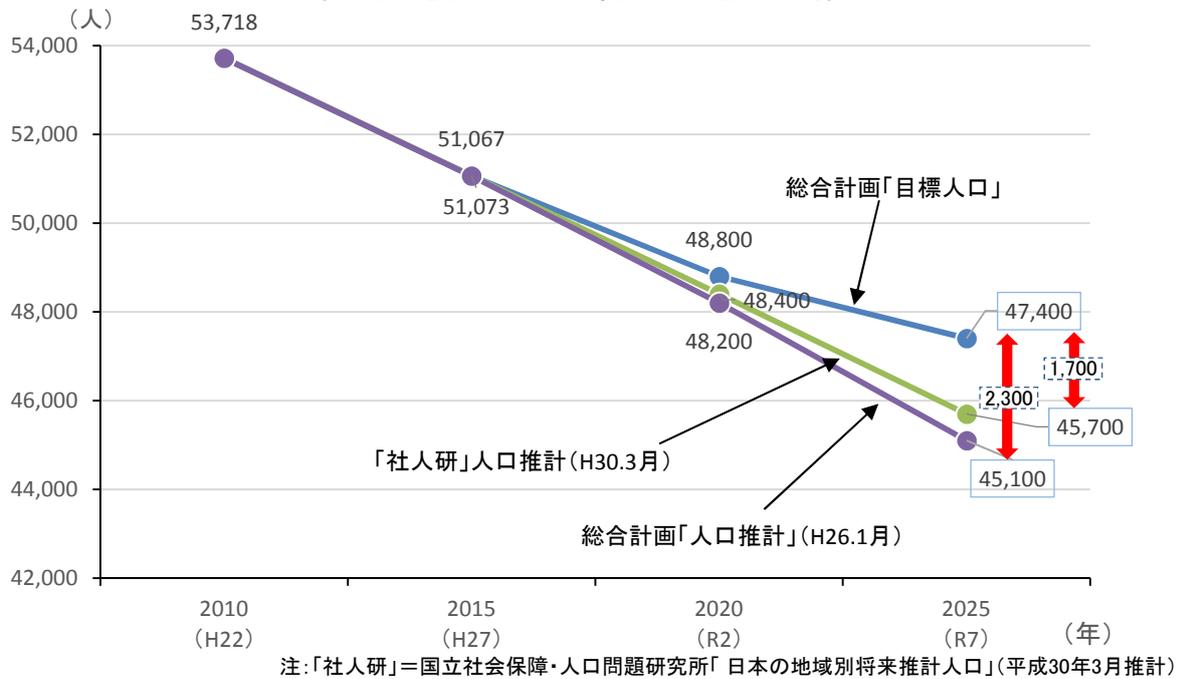


引用:統計からみた恵那市の現状(岐阜県)

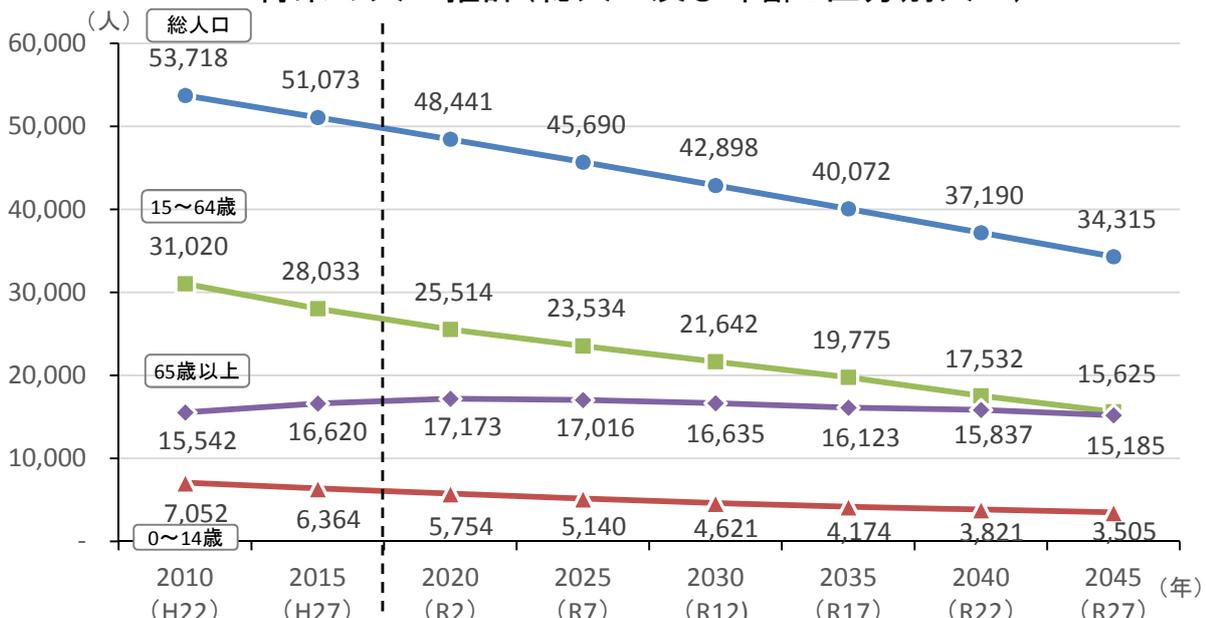
◇第2次総合計画では策定時の人口推計45,100人対し、目標人口を47,400人(差2,300人)としている。国立社会保障・人口問題研究所による推計では、推計人口45,700人で**目標人口との差1,700人**となった。

◇今後も人口減少が進み、特に15～64歳(生産年齢人口)の人口減少が著しく、2045年には65歳以上の人口とほぼ同数になると推計されている。

### 第2次総合計画目標人口と人口推計



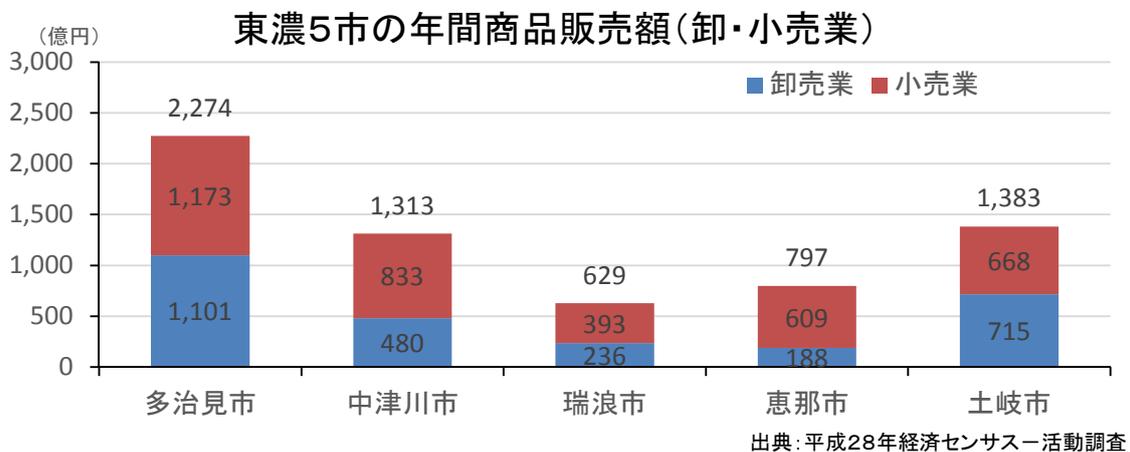
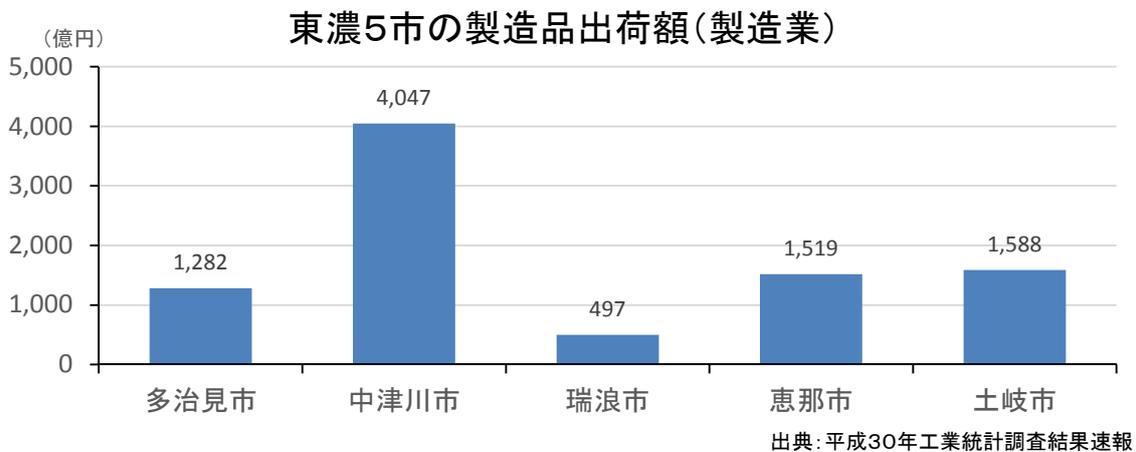
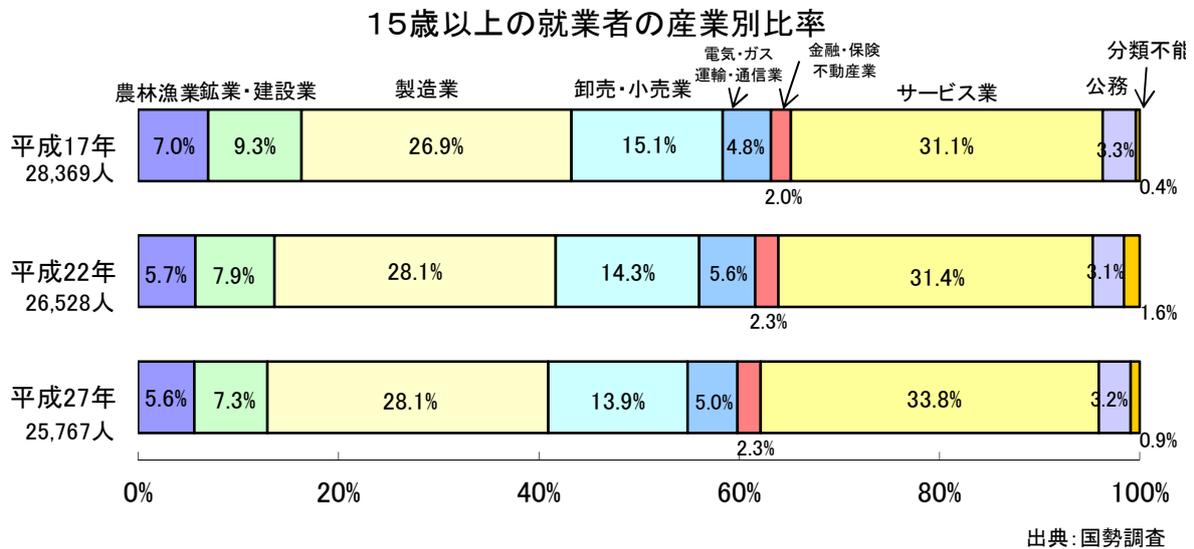
### 将来の人口推計(総人口及び年齢3区分別人口)



出典: 国勢調査、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(平成30年3月推計)  
注: 2015年以前の総人口には「年齢不詳」を含む

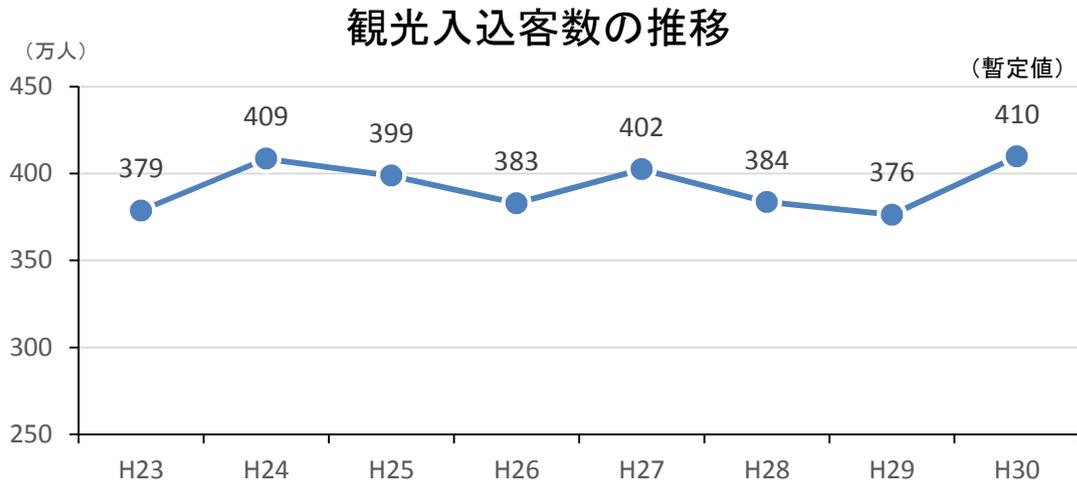
## 2. 産業

- ◇15歳以上の就業者数の割合では「サービス業」と「製造業」は約3割を占める。
- ◇製造業に係る「製造品出荷額」の東濃5市での比較では3番目に高い。
- ◇卸売業・小売業に係る「年間商品販売額」の東濃5市での比較では2番目に低い。

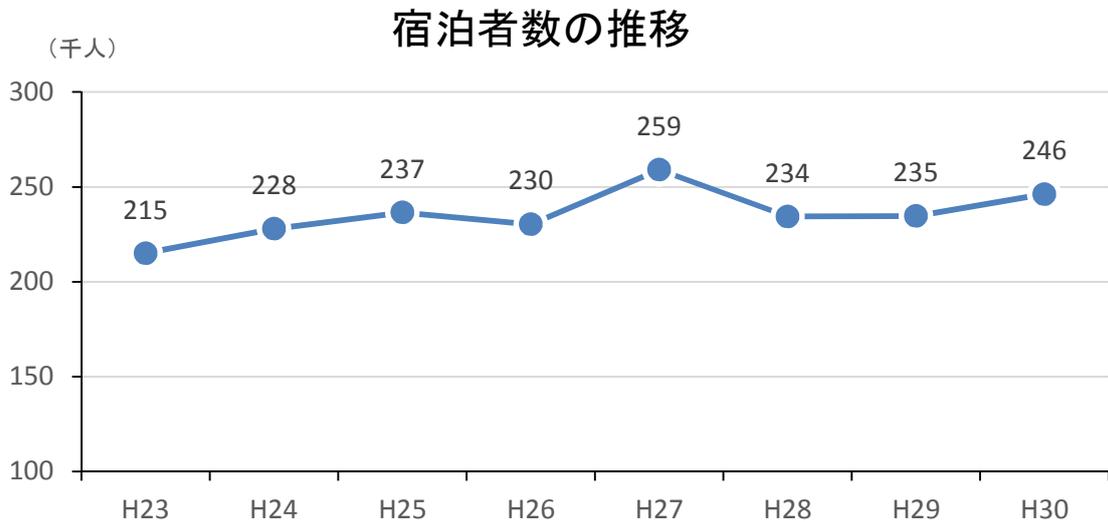


### 3. 観光・交流

- ◇平成30年の観光客入込客数(暫定)は約410万人であり、**過去最高**となった。
- ◇平成30年の宿泊者数は約25万人であり、**増加傾向**である。



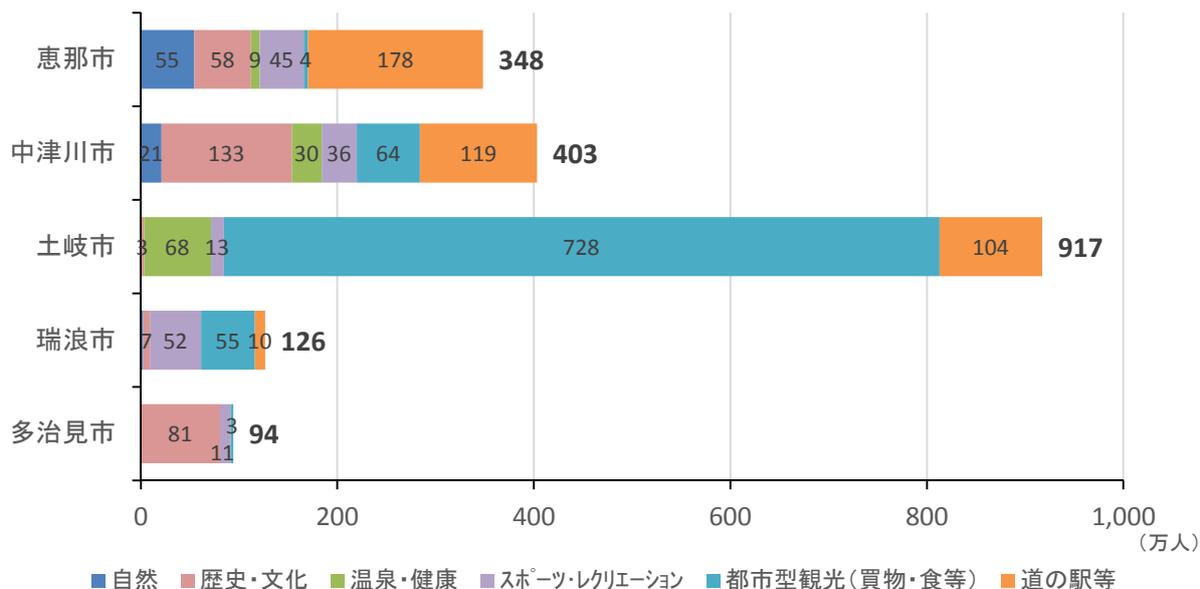
出典：岐阜県観光入込客統計調査  
注：入込客数＝施設＋イベント



資料：観光交流課

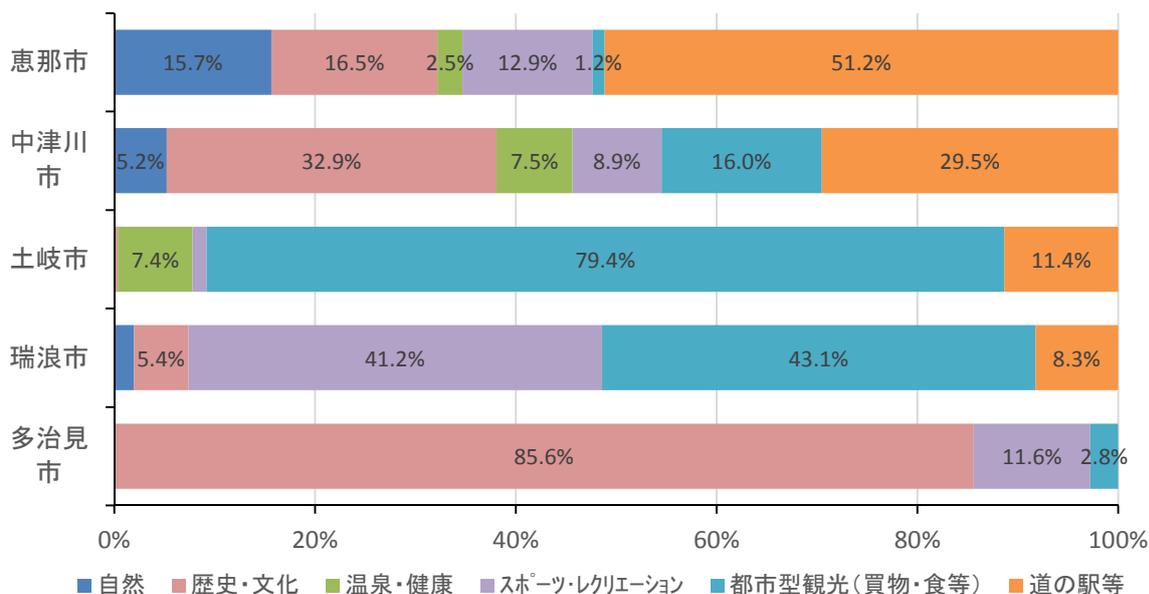
◇平成29年の観光地分類別観光客数は348万人であり、東濃5市では3番目に多い。  
 ◇平成29年の観光地分類別観光客の割合をみると、恵那市では「道の駅」で約5割を占めている。

### 観光地分類別観光客数(H29)



出典: 岐阜県観光入込客統計調査

### 観光地分類別観光客の割合(H29)



出典: 岐阜県観光入込客統計調査

# 「半分、青い。」の効果

○岩村町の主要観光施設の観光入込客数(H30年4月～3月)

観光施設等	入込客数
岩村城下町町屋5施設	344,157人(前年比3.1倍)
えなてらす、いわむら。(観光案内所)	130,816人(前年比8.4倍)
岩村休憩所(旧振興事務所)	65,468人(7月～3月)



ロケ地となった岩村城下町  
(平成30年のGW)



「半分、青い。」と岐阜県の取組が  
第9回ロケーションジャパン大賞  
最優秀賞のグランプリ受賞

# 大河ドラマ「麒麟がくる」

○明智光秀ラッピング列車  
運行期間:2019年3月30日～2021年3月



出発式の様子



# 「住みたい田舎」 東海エリア総合2位

## 2019「住みたい田舎」 ベストランキング

### 東海エリア総合部門 第2位獲得！

【部門別ランキング（全国12エリア）】

- 1
若者世代が住みたい田舎部門
- 2
総合部門、子育て世代が住みたい田舎  
シニア世代が住みたい田舎、自然の恵み部門